

経済産業委員会

令和3年3月3日（水）

午前10時09分～午前11時52分

議会第3会議室

【出席委員】千綿正明委員長、宮崎 健副委員長、御厨洋行委員、山下伸二委員、
野中宣明委員、重松 徹委員、山口弘展委員、川原田裕明委員、
江頭弘美委員

【欠席委員】なし

【委員外議員】なし

【執行部出席者】

・交通 局 志満交通局長
ほか、関係職員

【案 件】

・付託議案について

○千綿委員長

ただいまから経済産業委員会を開催いたします。

それでは最初に、4常任委員会による連合審査会の開催についてお諮りいたします。

総務委員会に付託されております第1号議案 令和3年度佐賀市一般会計予算中、第1条歳入全款及び第4条地方債の審査につきましては、当委員会の付託議案とも関連がありますので、佐賀市議会会議規則103条の規定に基づき、連合審査会を開催して審査したいと思いますますが、御異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

御異議がないようですので、第1号議案中、歳入全款及び地方債の審査については、連合審査会を開催することに決定いたしました。

次に、審査日程についてでございますが、ただいま決定いたしました連合審査会を含め、お手元のタブレット端末に掲載の審査日程案で進めたいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議がないようですので、この審査日程どおり、当委員会に付託されました議案について審査したいと思います。

なお、タブレット端末に掲載の開催通知には3月5日（金曜日）と記載しておりますが、審査日程では予備日となっております。このとおり審査を行わない場合は、開催通知の変更の通知はいたしませんので御了承ください。

なお、参考として、お手元に昨年9月定例会での附帯決議及び執行部の対応方針をお配

りしております。

今回の委員会では、令和3年度当初予算議案を審査することになりますので、審査の際の参考にさせていただければと思います。

次に、現地視察についてですが、もし御希望がある場合はマイクロバスの都合がございますので、早めにお申出ください。

それから、連合審査会の席次についてですが、正副委員長協議の上、タブレット端末に掲載の席次表のとおりにしたいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

ここで一旦経済産業委員会を休憩とします。

なお、連合審査会后、経済産業委員会を再開して、引き続き議案審査を行いますので、よろしくお願ひします。

それでは、4常任委員会での連合審査に切り替えますので、大会議室に移動をお願いします。

◎午前10時12分～午前11時19分 休憩

○千綿委員長

ちょっと時間が早いですが、経済産業委員会を再開いたします。

それでは、交通局に関する議案を審査いたします。

第5号議案を審査いたします。執行部に議案の説明を求めます。

◎第5号議案 令和3年度佐賀市自動車運送事業会計予算 説明

○千綿委員長

では、今説明が終わりましたので、皆さんから御意見、御質疑などを受けます。

○江頭委員

分かりにくかったから説明をお願いしたいのは、13の資料の6ページ、他会計借入金の償還金のことなんですけれども、これは、要するに長期にわたって借入れ分を償還していくというのに、県の車両に基づく補助があるものを使っているということなんですけれども、その辺をもう一回具体的に説明いいですか。

○大野交通局副局長

購入に際しまして、減価償却がどのくらい続くかということで、6年間の減価償却費相当分を借入金として借り入れております。毎年その年の減価償却費分を国県の補助としてもらって、返済の財源に充てているというものです。

○江頭委員

要するに車両に基づく部分で考えていいわけですね。大体年間1億3,000万円ばかりずっと一般会計から入っているじゃないですか。それを車両の償還としての部分で考えるということなんです。県の補助が来たりしている部分を償還に充てるという、車両の部分に対する減価償却のお金をこういうのに使うということと考えていいわけですね。

○大野交通局副局長

一般会計から、今、話題になっている借入金を借りるお金の動き、それから、補助金などの繰入れですね、補助とか交付金などの繰入れがあります。今、テーマにいただいているのが借入金でございますので、これについては、先ほど申し上げたように、6年間の償却がどのくらいかかるかということで借入額を決定して、その財源には国県からの補助をもらって返済に充てているというものでございます。

○重松委員

13番の1ページの収入のところの右側の広告費ですね、これはラッピングバスということだったんですけども、よく思うんですけども、ちよくちよくラッピングが変わるんですけども、これは契約期間というのは決まっているんですか。例えば、半年とか1年とか、中期とか長期とか、そういった形で契約されるのかですね。

それともう一つがフルラッピングですね、よく走っていますけども、金額はどれくらいでしょうかね。

○大野交通局副局長

まず、ラッピングの期間ですけど、お客様の広告期間に応じてということになりますので、それが1年であったり、あるいは半年であったり、数か月であったりというような期間が違っております。

一方で、代金としては、通常のフルのラッピングで広告料として月額10万円というのが基本でございます。

○重松委員

新型コロナウイルスのをPRしたようなラッピングバスが走っているじゃないですか。あれは何台で、期間はいつまでですか。

○大野交通局副局長

今、青っぽいマスクのあれがありますけど、あれは3台、ラッピングしております。交付金などの活用によって、市のほうで手当てしていただいておりますので、3台で、今のところ3月末ですけども、こういう状況ですので、引き続きの予算措置をいただいているところでございます。

○山下伸二委員

ちょっと全体的な動きを教えてくださいんですけども、交通系ICカードが導入されております。それで、今の旅客運送収益のどれくらいの割合がIC系カードで、現金がどれくらいで、その他はワンコイン・シルバーパスだとか、まだ交通チケットが残っていると思いますけども、そこら辺のところ分かれば教えてくださいんですけども。

○大野交通局副局長

ICの通常の利用の状況でございますけども、お客様の約半分ぐらいがIC系の——ニモカカードだけじゃなくて、ほかの交通系のICカードも含めて大体半分ぐらいがIC

カードをお使いのお客様というふうに考えております。

○山下伸二委員

せっかく導入していただいたので、I C系カードをやっぱり導入したほうが、当然料金の取りっぱぐれというか、なくなるわけですし、利用者の利便性も上がるわけですから、そういった交通I Cカードの利用促進というのも力を入れていくべきだと思うんですけど、その辺についてはどうでしょうか。

○大野交通局副局長

おっしゃるように今のキャッシュレスというような流れも含めて、私どもI C系カードのほうに移行いただくというのが非常にありがたいと思っております。

今、高齢者向けのワンコイン・シルバーパスも紙が中心でございますけども、今回公民館などに出向いてまいりますので、そういった皆様にも、今現在、今度の9月までは1,000ポイントを付与できるというキャンペーンの期間をワンコイン・シルバーパスについては設けておりますので、そういった宣伝もしながら、I Cカード化を進めさせていただきたいというふうに思っております。

○千綿委員長

ちょっと関連で聞きますが、高齢者パス券を発行しているじゃないですか。それで乗ったら電子マネーで100円払う。要するにシルバーパス券を見せて100円払うじゃないですか。そのデータというのはその電子マネーで分かると考えていいんですか。

○大野交通局副局長

データは、100円だけをコインで払われているとデータとしては取れませんので、ちょっとそこは分かりません。

○山口委員

先ほどの重松委員の質問とかぶるんですが、広告料収益のところは昨年度と金額は全く同額なんですけれども、いろいろ努力されていると思うんですが、ラッピングバス以外に、以前にネーミングライツだとかというような方策もあったと思うんですね。

実際この2,650万円の内訳というのが大体どんなものなのかというのを教えていただけますか。

○大野交通局副局長

実はこれは年間でも出入りがどうしてもございますので、定額でほぼ、先ほど申し上げたように、月額が10万円のラッピングバスがほとんどでございますので、ほとんどがラッピングバスです。

あとは、車内ポスターなんかを月額500円でやっております。そういうのを含めて年間の定額でやっていると。年間の予算としては、この金額でお示ししているところです。

実は今でも引き合いが2件ほど、また新規の引き合いもありまして、見込みというのが正確に立ちませんので、正確にというのは非常に言い方はいけませんけども、こういう同

額で計上しているところでございます。

2,500万円ほどがラッピングバスですね。

○山口委員

そしたら、逆に言うとラッピングバス以外の広告収入というのは、それより広げるということはなかなか厳しいんですかね。

○大野交通局副局長

今、広告としては、小さな広告でいきますと、このラッピングバスであつたり車体に貼っている看板、それから、音声の案内、それと車内でのポスターの掲示、こういったものがありますけども、やはりラッピングのほうが大きなボリュームがありますし、広告効果もより大きいもので、皆様のニーズもあろうかと思えます。さっき申し上げたようには、来年度に向けての引き合いもいただいておりますので、そういったもので努力させていただきたいというふうに思っております。

○山口委員

分かりました。

もう一点なんですが、営業外費用の中で軽油費が7,200万円、80万リットル購入ということであつたんですが、環境部のほうで、廃食用油を使ったバイオディーゼル燃料を使われていますよね。それがどれぐらい使われているのか。ですから、もしそれが全くなかったら、当然この軽油費というのはもっと高くなるのか、そのあたりをちょっと御説明ください。

○大野交通局副局長

今、環境部のほうで、H i B Dですね、前のバイオディーゼルではなくて、もっと質の高いH i B Dというのをチャレンジされています。私どもも、バイオディーゼルエンジンの中には複数の車両と一緒にチャレンジしておりましたが、それがなかなか現在のエンジンでは、コモンレール型という燃料系の要素が新しくなったエンジンには適合しないということで、それはもうやめております。実際に生産もやめていまして、H i B Dのチャレンジを今、環境部のほうでやっているところです。

私どもも、少量ですけども、1台車を限定しまして、混合して実際にどうかという実証実験をしているところですので、これが商業ベースに乗れるかどうかというのはまだあれですけども、この軽油費を押し出すほどのところはないですが、大体今のところ、50%の混合で試しをしているところですので。しかも、量産というような状況じゃありませんので、まだ実験中というところでございます。

○千綿委員長

広島かどこか、向こうに持って行って精製してもらうとか。

○大野交通局副局長

広島の技術者の方が出向かれて、今いろいろされるということで。

○千綿委員長

ほかにありませんか。

○宮崎副委員長

さっきの山口委員の話ですけど、広告のところちょっと細かいですが、一覧を出してもらっていいですか。ラッピングが二百何十万円、それからアナウンス、それから中つり、それとポスターですね、どのぐらい年間の実績があるかというのをですね。

○千綿委員長

それと金額ですね。それで、例えば路線ごとでいいのか、バスの台数は全部につけるのか、例えば、路線がバスセンターから医大までのところだけでもつけられるのか、そこら辺のところも、逆に多分取ってやろうと思われていると思いますので、そこら辺を資料としていいですか。

○大野交通局副局長

今の現状の実績をお示しさせていただくということで、今日午後でよろしいでしょうか。

○宮崎副委員長

今資料を出していただくということなんですが、例えば、上屋の整備も年間に少しずつやられているじゃないですか。例えば、上屋の壁とかにもそういう広告収入を取れるようなことというのは、今現在はやってないんですかね。

○大野交通局副局長

今現在は上屋に広告はしておりません。表示面も実際には壁がないものを設置しております。ポールだけのものしております。視界の問題もありますので、何か広告、あるいはバス停なんかの広告も、パネルへの広告もやっておりません。

○宮崎副委員長

2台ノンステップバス導入ということですが、逆に廃車予定とか、そういうバス車両はありますか。

○大野交通局副局長

購入がノンステップバスは中型を2台、それから新車じゃないですけど、中古でポンチョと言っています小さなバスを購入予定でありますので、全体的には押し出しで3台の廃車を予定しております。

○宮崎副委員長

ちなみにそれはスクラップ行きですか。それともどこかに転売というか、売却されるのか、それとも部品取りにされるのか。

○大野交通局副局長

売却いたしますので、基本的にはスクラップだというふうに考えております。

○宮崎副委員長

整備で物すごく手を入れてもらっているから、確かに故障もたまにあったりしているみ

たいですけども、まだ民間では十分使えるんじゃないかなと思ったりもするんですよ。少しでも銭になったがよかろうと思うから、そこら辺は考え方としてどうですか。

○大野交通局副局長

実際に車のコンディションとしては、私も素人ですが、ノンステップの傾く機能とかがなかなかうまくいかなくなっていて、もうそろそろだなと。素人が見ても、そういう機能が不完全なものも出てきております。そういうのは予備などに置いておりますけども、そういう意味では寿命が来ているもの、20年以上は経過しておりますので、私どもも買換えというふうに考えております。ただ、できるだけ高く売却できるように考えなければいけないと思います。

○千綿委員長

私のほうからすみません。

私は昨年の決算のときにあつて、気になっているのが、要は自動車事故によって保険料が上がりましたという話があったじゃないですか。資料を見ると、1,000万円の掛金で、要するに事故の補償金も1,000万円というようなことになっていきますよね。

過去三、四年間、そこら辺の料金、要するに損害保険の掛金と保険料が下りてくる部分というのがあるじゃないですか。結局、去年たしか高くなって、何百万円か高くなったという話をされましたよね。今回見てみると、掛金と来るのが同額なわけですね。正直言うと、かなり高いなと私は個人的に思っているんですが、過去5年ぐらいいいので、そこら辺の掛金と事故を起こしたときの向こうの保険料が来た分の収入、支出をちょっと出していただきたいのと、最後に1つ、修繕費がありますけども、この間ちょっと私ヒアリングで行ったときに、交通局の見た目が非常に悪いんですけど、壁の塗り替えの計画とかはしなくていいんですか。あんなに汚くて、景観等も周辺から文句が出るんじゃないかと私は個人的には思うんですが、この当初予算には載っているか載っていないか、そこら辺だけ。

○大野交通局副局長

まず最初の保険料の掛金などは資料を用意いたします。

それから、庁舎の見た目ですけども、通常予算では維持管理の経費としてはありますので、現状ではその範囲内で手をつけると。昨年も実は台風で屋上の防水機能がなくなってしまって、屋上に手を入れて、既存の経費でやりました。今回も御指摘いただいたところも含めて、もし多額な費用で手を入れられないといけないということになれば、改めてそこは予算をお願いしないといけないと思います。

○志満交通局長

今度の一般質問にも関係するような内容ですけども、確かにこの間来ていただいて、ヒアリングさせていただいたんですけども、外観がかなり黒っぽくなっていて、本来はアイボリー色のきれいな色だったんですけども、雨あかも含めて相当——あれを見て、例え

ば、交通局で働きたいなという人があの建物を見ただけでちょっと遠慮しようという、そういうことになったらいけませんので、我々としても建て替え計画の中で、そういうのも含めて計画、検討すべきだと思っております。

ただ、外壁工事はどうしても踏み代とか、そういうふうな構造物を造るということで、1平米当たり3万円ほどかかると聞いています。床面積と外壁の面積がほぼ一緒ということで聞いていますので、うちは今700平米ございますので、2,000万円ほど塗り替えだけでもかかると。これは公共的な金額かもしれませんが、そういうふうなものがありまして、行く行くは建て替え計画の中でできれば、それで後戻りにならないような計画を立てて対応したいと考えております。

○千綿委員長

ちなみに先ほど言った資料、広告関係と保険の資料はいつ頃までに出せますか。

あしたぐらいまでいいですか。大丈夫か。

(「はい」と呼ぶ者あり)

一応あした経済部の審査があるので、あしたの終わりぐらいまでに出していただければ、まとめには間に合うかなと思いますので、よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

では、ほかにないということによろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

それでは、これで交通局の議案の質疑を終わらせていただきたいと思います。退席していただいて結構です。

◎執行部退室

○千綿委員長

それでは、本日の議案の審議が終了しました。

付託議案の審査に関して現地視察の御希望はありますでしょうか。

皆さん帰り際に交通局を見に行ってください。本本に汚いので、よろしく願います。ないようですので、本日の議案の審査を終了いたします。

これで本日の経済産業委員会を終了いたしますが、次の委員会は明日3月4日午前10時を予定しておりますので、よろしく願います。

これで終わりたいと思います。お疲れさまでございます。